



平成 22 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 アテクト  
代表者名 代表取締役社長 小高 得央  
( J A S D A Q ・ コード 4 2 4 1 )  
問い合わせ先  
責任者役職名 管理ディヴィジョンリーダー  
氏 名 飯野 磨  
T E L ( 072 ) 967 - 7000 ( 代表 )

## 中期経営計画(2011年3月期～2014年3月期)の策定について

当社は、2011年3月期を初年度とするグループ中期経営計画を、下記の通り策定いたしましたので、概要を以下にお知らせいたします。

### 記

#### 1. 計画策定の背景

当社は2006年6月の株式上場後、経営理念「**アテクトは、お客様との絆を基に、ニュービジネスをグローバルに創造・展開し続けます。**」の基に、3年間(2008年3月期から2010年3月期迄)の中期経営計画を策定し、積極的に事業活動を行ってまいりました。

この間、当社は半導体資材事業、衛生検査器材事業をベースに事業の安定経営を目指し、かつ、プラスチック造形事業、ポリマー微粒子事業という、当社の蓄積したノウハウを生かすことが可能な新規事業の開拓を手掛けてまいりました。さらに2009年には、パウダー・インジェクション・モールド(PIM)事業を立ち上げ、既存のリソースの活用に加えて、新しい成長分野でのビジネス展開の基礎といたしました。

当社は、さらに成長発展するために、続く2011年3月期から2014年3月期迄の4年間の中期経営計画を策定いたしました。

#### 2. 基本方針

- (1) 新規事業の強化
- (2) グローバル展開での市場売上拡大
- (3) 新規顧客開拓の強化
- (4) 新商品の開発強化
- (5) グループ総力での生産性向上及び資産の有効活用の推進

#### 3. 具体的施策

上記方針に基づき、各事業ごとに次の具体的施策を、グループを挙げて推進してまいります。

##### (1) 半導体資材事業

液晶テレビ、プラズマテレビを中心としたフラットパネルディスプレイ市場の拡大を推進力として伸張し、所定の業績を確保することができました。

2006年に韓国国内に設立した子会社アテクト코리아を通じ、中国及び韓国からの原材料調達を行い、生産体制を強化するとともに、中国・東南アジアも含めたさらなるシェアアップを目指してまいります。

(2) 衛生検査器材事業

年々高めてきた生産効率と原材料の調達価格の低減により、所定の利益を確保することができました。

長年のエンドユーザーとの直接取引を通じて高めてきた各商品の使い易さをさらに磨くと同時に、当社の高いクリーン技術を活用した新商品の開発を進めてまいります。

営業面では、国内が中心であった新規顧客の開拓に加え、オリンピックや万博という国家的イベントを通じて食の安全に対する意識が急速に高まってきた中国における事業展開を行ってまいります。

(3) プラスチック造形事業

主力顧客である大手液晶パネルメーカーにおける工場設備計画の順延をうけ、当初の売上計画を達成することができませんでした。

エンジニアリングプラスチック成形における高い技術を三次元積層造形技術、金型技術と組み合わせ、先例のない高付加価値商品を生み出してまいります。

(4) ポリマー微粒子事業

主力分野である自動車業界における新規開発活動の順延をうけ、当初の売上計画を達成することができませんでした。

世界的にも類を見ない複合材料を球状微粒子に加工する当社の技術は、ユーザーのみならずポリマー材料メーカーからも注目され、三次元積層造形用材料の他、半導体封止材料、固体潤滑剤、次世代表示デバイスなど先端的な共同開発活動を継続し、大きな付加価値の見込まれる事業として伸張させてまいります。

(5) パウダー・インジェクション・モールド(P I M)事業

ポリマー微粒子事業から派生し、2009年に事業化を開始したP I M事業は、当社の既存リソースを最大限に活用することができる事業でありますので、金属およびセラミックス材料の持つポテンシャルを通じて、自動車、エネルギー・環境といった分野での共同開発活動をスタートさせております。

材料、金型、加工プロセスを一貫して手掛けられる当社の開発力は、海外のお客様にも高く評価され、将来の主力事業として強力に推進してまいります。

4. 中期経営計画目標数値(連結ベース)

新中期経営計画は、第42期(2011年3月期)から第45期(2014年3月期)の4年間で連結売上高100億円、連結営業利益15億円(営業利益率15%)を目指すものであります。計画達成に向け、グループ一丸となり、推進してまいります所存でございます。

中期経営計画の数値目標

(単位：百万円)

		第42期 (2011年3月期)	第43期 (2012年3月期)	第44期 (2013年3月期)	第45期 (2014年3月期)
売上高	半導体資材事業	1,900	2,000	2,200	2,300
	衛生検査器材事業	1,500	1,600	2,000	2,200
	プラスチック造形事業	375	500	700	1,000
	ポリマー微粒子事業	100	300	700	1,500
	P I M 事業	125	500	1,400	3,000
	合計	4,000	4,900	7,000	10,000
営業利益		280	500	1,000	1,500
営業利益率		7.0%	10.2%	14.2%	15.0%

上記に記載した数値目標については、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。この数値目標には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がありますので、当該情報に全面的に依拠して投資等の判断を行うことは差し控えていただきますようお願いいたします。